

見てきた！歌舞伎の稽古

内藤悠翔

歌舞伎の稽古を特別に見せて貰いました

まず、一番最初にお弟子さんが辛いと思う事は、何時間も正座をしている事らしいです。

自分だったら、10分ぐらいでもう足が痺れて、動けなくなってしまうと思います。

ちなみに、歌舞伎役者になるための弟子入りの時期は、中学卒業後から入ってくる人や大学卒業後から入ってくる人など様々でした。

次に、歌舞伎の稽古は殆どが口や身振り手振りで説明しており教科書が無いらしいです。

だから、歌舞伎の稽古は教える人と教えてもらう人同士の信頼や絆などが

とても大事なんだと思いました。

五代目中村時蔵さんに会ってきた！

まず、中村時蔵さんは1960年の一度目の襲名で、三代目中村梅枝さんになりました。

二度目の襲名を、1981年に行い五代目中村時蔵さんとなりました。

次に、私の偏見だったんですけど、てっきり歌舞伎の先生は厳しくて厳格なもの

だと思っていたのですが、実際に会って稽古を見ていると、とても優しい方でした。

次に、何故この歌舞伎の道を歩んで来たのか聞いてみたところ

お父様も歌舞伎役者さんで、そこから、自分も歌舞伎役者さんの道を歩んで来たらしいです。

聞いてみた！Q&A

Q 女形をする時にしている事はなんですか？

A 高い声で腹から声を出すのが基本です。そして、若い人ほど声を高くする事です。

Q 歌舞伎の独特な喋り方は何が始まりですか？

A 諸説ありますが、人形浄瑠璃の喋り方が、元になっていると言われていています。

Q 歌舞伎に女性の方はいたんですか？

A 今の歌舞伎では、女性は居ません。じつは、今では男性が歌舞伎をしています

歌舞伎を始めた人は男性ではなく、女性なんです。

Q やってくれたら嬉しい事は何かですか？

A SNSなどで「面白かったよー」などと、拡散してくれたり、拍手をしてくれる事です